

1. 科目名（単位数）	異文化コミュニケーション教育（2単位）		3. 科目番号	EIJP2171
2. 授業担当教員	高 峽			
4. 授業形態	講義、ディスカッション		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「異文化接触と文化学習」を履修していることが望ましい。			
7. 講義概要	異文化コミュニケーションは、異文化環境下でのコミュニケーションや文化背景が異なる者同士によるコミュニケーション事象などを対象としている。グローバル化の進む国際社会では、越境する人々によって教育環境も多様化し、異文化コミュニケーションの機会は増加している。 本講義では、教育場面での異文化の対人関係を取り上げながら、教育の現状や文化とコミュニケーションの関係、またその影響や対応などについて考えていく。			
8. 学習目標	1. 文化とコミュニケーションの関係について理解することができる。 2. 多様な教育環境について理解することができる。 3. 教育場面における文化の影響について理解することができる。			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	1. 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習をしておく。 事前学習・事後学習の確認として、適宜口頭発表や小テストを実施する。 2. 講義で扱う教育場面や対人関係を踏まえ、具体的な例をあげながらコミュニケーション事象を分析し、レポートを作成して提出する。 3. 異文化コミュニケーションで起こる摩擦や葛藤について、原因や対応などを含めて考察し、レポートを作成して提出する。 詳細については、講義内で指示する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 資料は適宜講義で配付する。 【参考書】 講義内で適宜紹介する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準（学習目標） 1.文化とコミュニケーションの関係について理解することができたか。 2.多様な教育環境について理解することができたか。 3.教育場面における文化の影響について理解することができたか。 ○評定方法 以下の点を総合的に評価する。 1.授業態度 総合点の30%：積極的な参加、課題の提出状況などにより評価。 2.グループ・ワーク 総合点の30%：共同作業での発言、役割貢献などにより評価。 3.試験・レポート 総合点の40%：基礎知識の理解、自身の意見の表出の程度により評価。 なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。			
12. 受講生へのメッセージ	各回の事前学習と事後学習を必ず達成したうえで、授業に臨むこと。 配付資料は熟読し、授業に持参すること。 文化背景の異なる人々との交流やコミュニケーションに興味を持っていることが望ましい。 自身や周囲のコミュニケーション状況を意識して観察し、関連付けながら受講すること。 講義内容を積極的に聴き、必要に応じて自身が振り返る際に理解できる言葉・表現でメモすること。 自身の意見や考えについて積極的に発信していくこと。			
13. オフィスアワー	初回の講義内で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	イントロダクション: 授業の概要、授業の進め方		事前学習	シラバスを確認し、扱うテーマや内容について把握しておく。
			事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方について整理しておく。
第2回	異文化コミュニケーションと教育		事前学習	教育とはなにかについて自身で考えてみる。
			事後学習	異文化コミュニケーションの事態について振り返っておく。
第3回	日本におけるコミュニケーション教育		事前学習	学習指導要領に関する資料を読んでおく。
			事後学習	講義で扱った学習指導要領の部分について振り返っておく。
第4回	コミュニケーションの機能と文化集団		事前学習	コミュニケーションの役割について自身の考えをまとめておく。
			事後学習	コミュニケーション学における文化集団について振り返っておく。
第5回	教育場面における対人コミュニケーション		事前学習	教育現場にはどのような対人関係が存在するか考えておく。
			事後学習	教育場面における文化集団とコミュニケーション事象について整理しておく。

第6回	海外生教育とコミュニケーション	事前学習	異文化環境下で学校生活を送る際の問題について自身の考えをまとめておく。
		事後学習	補習校や母語教育などについて整理しておく。
第7回	海外の言語コミュニケーション教育	事前学習	国際社会における言語の役割について考えてみる。
		事後学習	講義で扱った各国の言語政策について整理しておく。
第8回	海外における日本語教育	事前学習	母語以外の言語でコミュニケーションをする時の問題について考えてみる。
		事後学習	講義で扱った各国の日本語教育事情や日本との関係について整理しておく。
第9回	外国人児童生徒教育と異文化適応	事前学習	新しい環境に適応するために必要なことはなにか自身の考えをまとめておく。
		事後学習	外国人児童・生徒を取り巻く問題について整理しておく。
第10回	帰国生教育と再適応	事前学習	新しい環境と慣れ親しんだ環境の違いはなにか自身の考えをまとめておく。
		事後学習	帰国生教育の変遷について整理しておく。
第11回	国際理解教育	事前学習	自身の異文化体験があれば振り返っておく。
		事後学習	教育現場での国際理解や異文化理解への取り組みについて整理しておく。
第12回	留学生のコミュニケーション	事前学習	留学生や文化背景の異なる人々と接した経験があれば振り返っておく。
		事後学習	在日留学生の現状について整理しておく。
第13回	複言語・複文化主義	事前学習	自身の言語学習の経験から、その教材内容について振り返っておく。
		事後学習	ヨーロッパの言語教育や複言語・複文化主義について整理しておく。
第14回	日本語教育からみた異文化理解	事前学習	既習内容を振り返り、異文化を理解するために必要なことはなにか考えておく。
		事後学習	異文化理解のための教育的課題についてまとめる。
第15回	総括：既習内容の振り返り、重要ポイントのまとめ	事前学習	既習内容について総復習をし、不明な点がないか確認しておく。
		事後学習	ノートや資料を整理し、レポートを作成する。